

パイオキュアー

認証番号：224ADBZX00189000

取扱説明書



NARCOHM

お客様へお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたらご連絡ください。



T-1200074

ごあいさつ

この度は、ナルコーム「パイオキュアー」(P-11)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくため、ご使用前に使用説明書を一通りお読みください。

また、お読みになった後は、必ず保管してください。操作中に使い方がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたい時にお役に立ちます。

パイオキュアーとは

電位差を利用してフッ素イオン等を歯質に導入する装置です。う蝕予防、又は根管治療用途での使用を意図しております。

もくじ

もくじ	1
安全上のご注意	2
付属品の名称	4
別売品	5
各部の名称とはたらき	6
前準備	7
付属電池をご使用される場合	7
専用ACアダプタを使用される場合	8
使用方法	10
う蝕予防	10
う蝕予防(二人同時使用)	13
根管治療	16
一般的用法	19
便利な機能	23
メモリ機能	23
終了音/動作音 設定	25
困った時は	28
保守点検	29
本体・付属品の点検方法	29
清掃・消毒・滅菌	34
保証とアフターサービス	35
技術資料	36
仕様	39

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■操作上、守っていただきたい重要事項や補足説明を、次の表示で区分し、説明しています。

重要

操作上、守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

カバーを開けない。
改造しない。



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因になります。



内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

異常が起きたらすぐに
電源プラグを抜く。



- ・本体が破損した。
- ・本体内に異物が入った。
- ・異臭がする。
- ・煙が出ている。
- ・異常に熱い。

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

異常が起きたらすぐに電源を切って電源プラグを抜き、販売店に修理をご依頼ください。

指定の単3型ニッケル水素電池以外は使用しない。



ニッケル水素電池は分解、改造しないでください。

指定電池の型式については、下記にお問い合わせください。

株式会社ナルコーム
営業部 TEL 047-364-7656

機器に異物や水を入れたり、濡らしたりしないでください。



内部に水が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグまたは、電池を抜き、販売店に修理をご依頼ください。

濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない。



感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

弊社指定の薬液、付属品およびイオントレー（4、5ページ参照）以外は使用しない。



意図する効果が得られない場合があります。

付属アタッチメント以外をアタッチメントとして使用しない。またアタッチメントを改造しない。



意図する効果が得られない場合があります。

患者に使用中、整備または保守をしない。



整備、保守は患者に使用していない間に行ってください。

⚠ 注意

機器を接続するコンセントの周りには操作の妨げになるものを置かない。



緊急時にACアダプタを直ちに切り離せるように設置してください。

不安定な場所に置かない。



バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になります。

湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには置かない。



火災・感電の原因になることがあります。

専用ACアダプタ以外は使用しない。



感電・火災・故障の原因になります。

強い静電気や電磁波近づけない。



故障・誤動作の原因になります。

落下させない。



故障・誤動作の原因になります

ACコードは、プラグ部分を持って抜く。



ACコード、又はアダプタ部を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間ご使用にならない時は電源プラグを抜く。



長期間、本機をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの時は電源プラグを抜く。

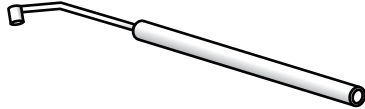


お手入れの時は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

付属品の名称

付属品が揃っているかご確認ください。

PYO-A (唇面用アタッチメント)

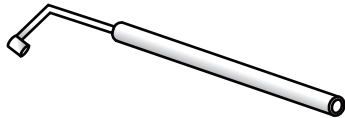


電極コード

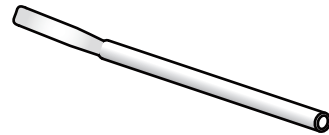


最大ケーブル長：約 2 m

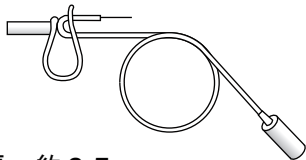
PYO-B (舌面用アタッチメント)



PYO-C (多歯用アタッチメント)

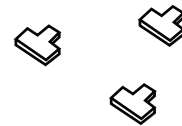


PYO-D (根管治療用アタッチメント)



最大ケーブル長：約 25 cm

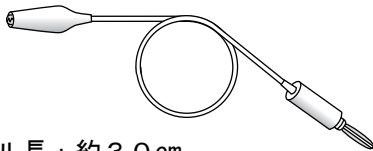
PYO-E (触子)



【禁忌・禁止】
再使用禁止

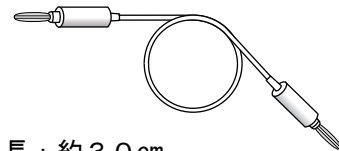
30個

PYO-F (イオントレー接続コード)



最大ケーブル長：約 30 cm

PYO-G (治療用アタッチメント接続コード)



最大ケーブル長：約 30 cm

その他

- ・充電電池(単三×4本)
- ・電池用充電器

材質

- ・スチレン系熱可逆エラストマー (PYO-A～C)
- ・ポリエチレン (PYO-D)
- ・洋白線 (PYO-D)
- ・セルローズスポンジ (PYO-E)

別売品

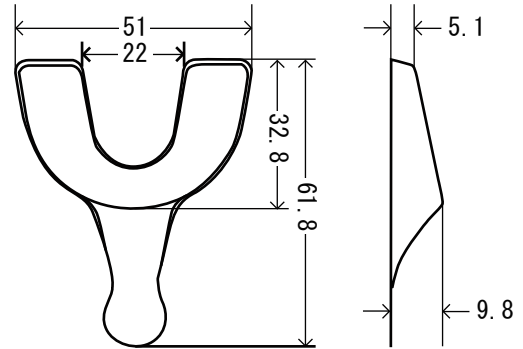
販売店にご注文願います。

● イオントレー

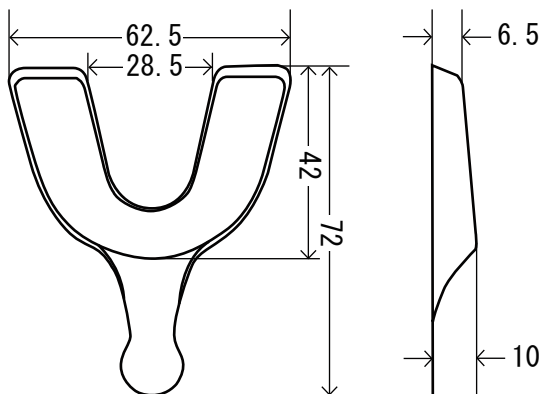
【禁忌・禁止】
再使用禁止

SS：幼児用

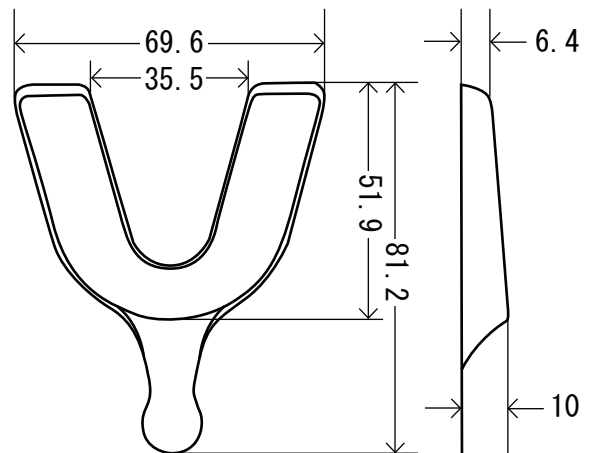
単位：mm



S：低学年用



M：高学年・成人用

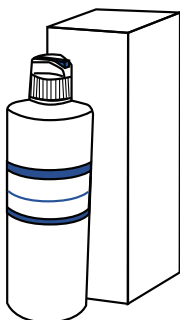


材質

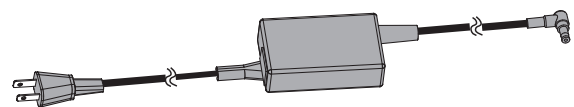
・脱脂綿 ・発泡ポリエチレンシート ・アルミニウム箔 ・ホットメルト

● 弗化ナトリウム液「ネオ」

承認番号：14200AMZ00018000

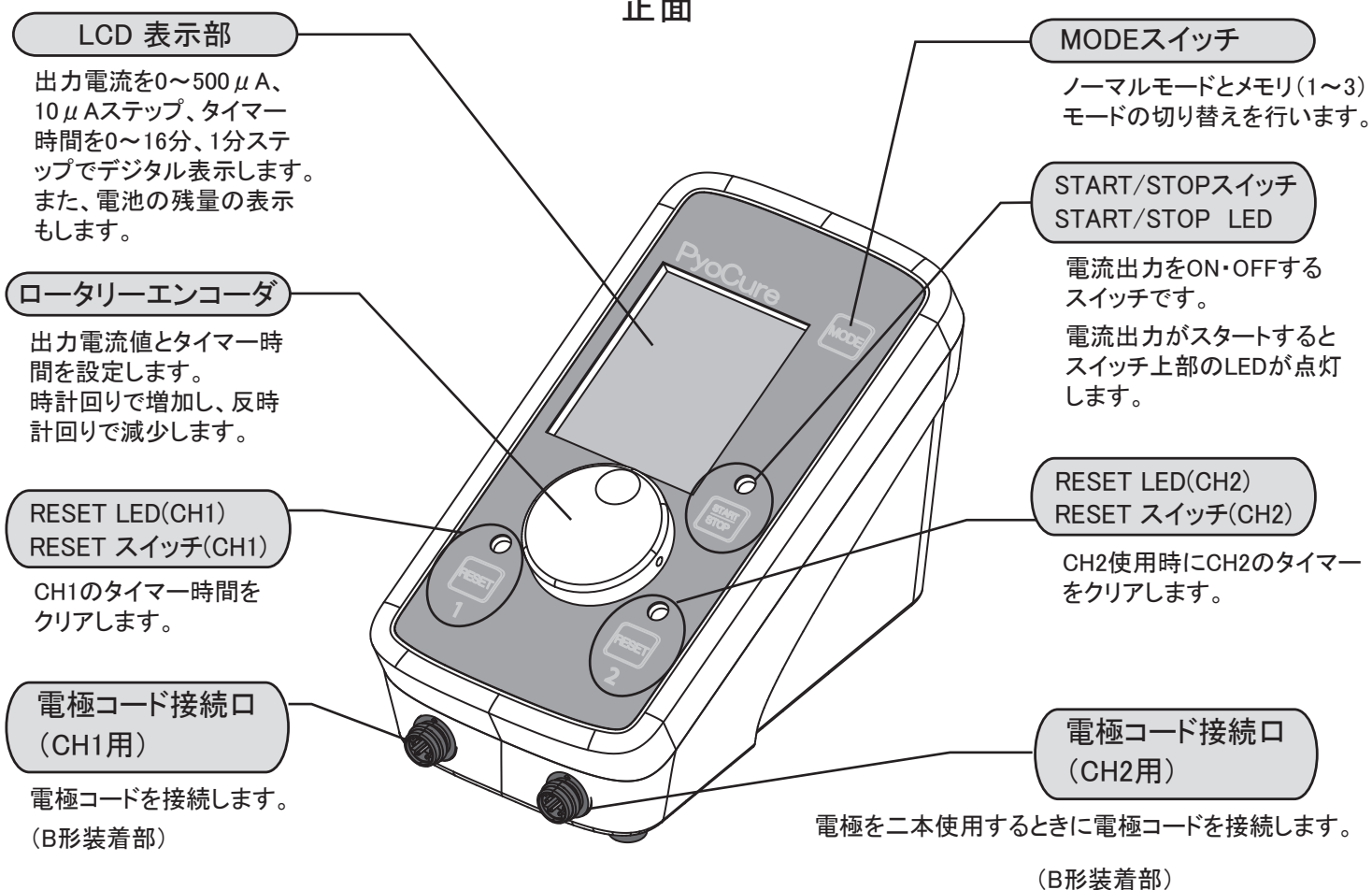


● 専用 AC アダプタ

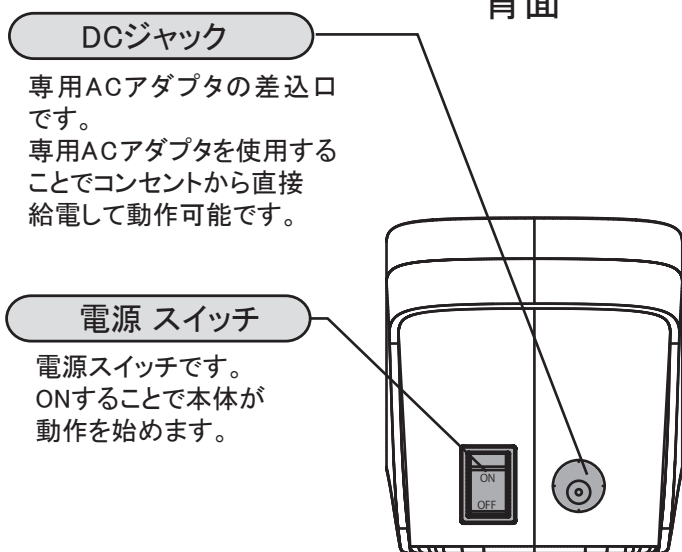


各部の名称とはたらき

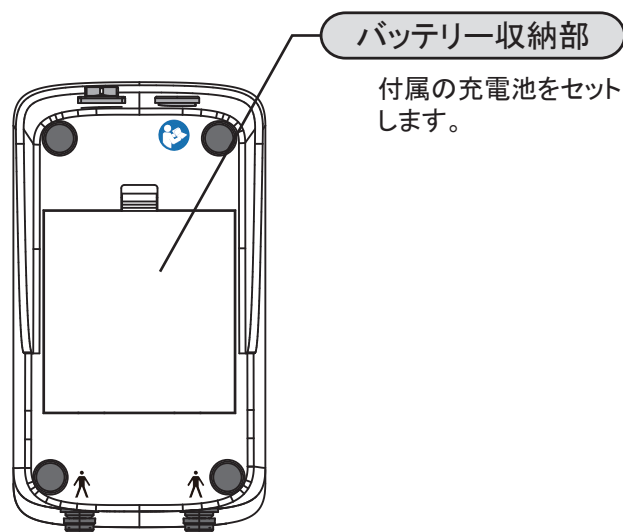
正面



背面



底面



前準備

付属充電電池をご使用される場合

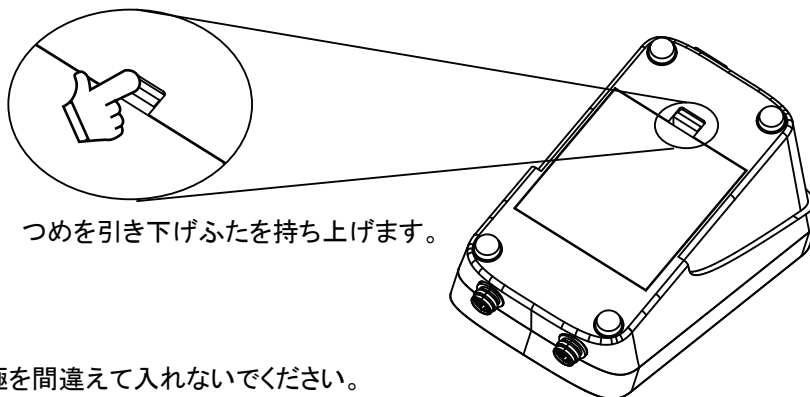
※電池がない状態でも専用アダプタにより動作させることができます。
→次項 ACアダプタをご使用される場合をご覧ください。

重要

使用前に、充電電池を十分に充電してお使いください。
充電電池、および充電器付属の取扱説明書に従って正しく充電してください。

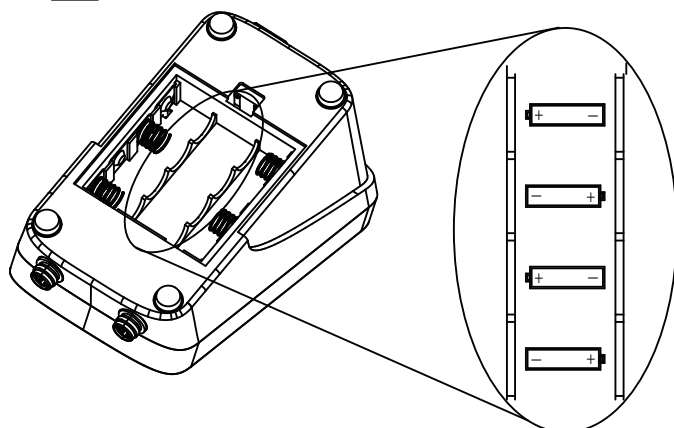
1 充電電池を本体にセットします。

①電池ふたを外します。



②電池をセットします。

⚠ 電池の⊕⊖極を間違えて入れないでください。

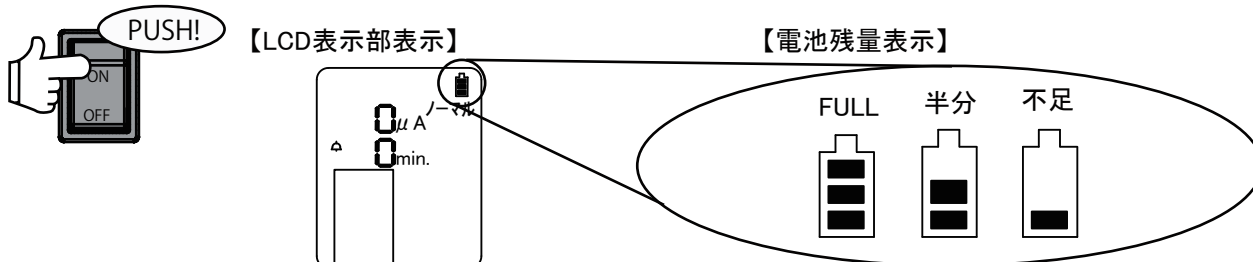


電池BOX内の極性表示に従い
電池をセットしてください。

③電池ふたを取り付けます。

⚠ 電池ふたは必ず取り付けてください。
電池ふたを取り付けない状態で、電源スイッチをONにしないでください。

2 電源スイッチをONにすることで、LCD表示部で電池残量が確認できます。



※ 電池残量が空に近づくと、電池残量表示が不足状態で点滅します。
この状態では動作中電源が落ちてしまう可能性がありますので直ちに充電してください。

P9の4へ進んでください。

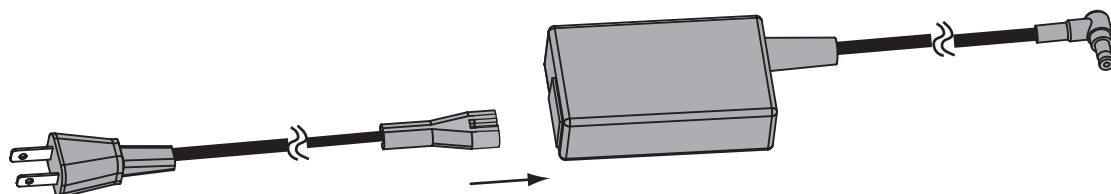
専用ACアダプタを使用される場合

※専用ACアダプタで動作させる場合、電池BOX内の電池有無にかかわらず動作させることができます。

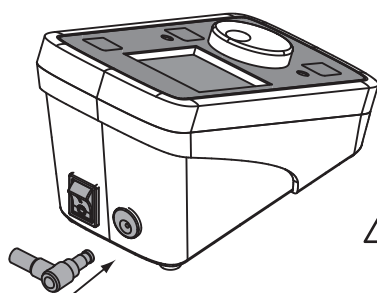
※電池を使用される場合、本ページの準備は必要ありません。

※専用ACアダプタは別売りです。

- 1 専用ACアダプタとACコードを接続します。

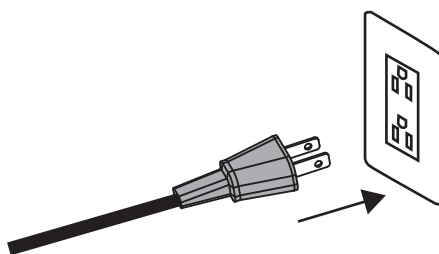


- 2 専用ACアダプタを本体背面のDCジャックに差し込みます。



⚠ 接続するアダプタは必ず専用ACアダプタをご使用ください。

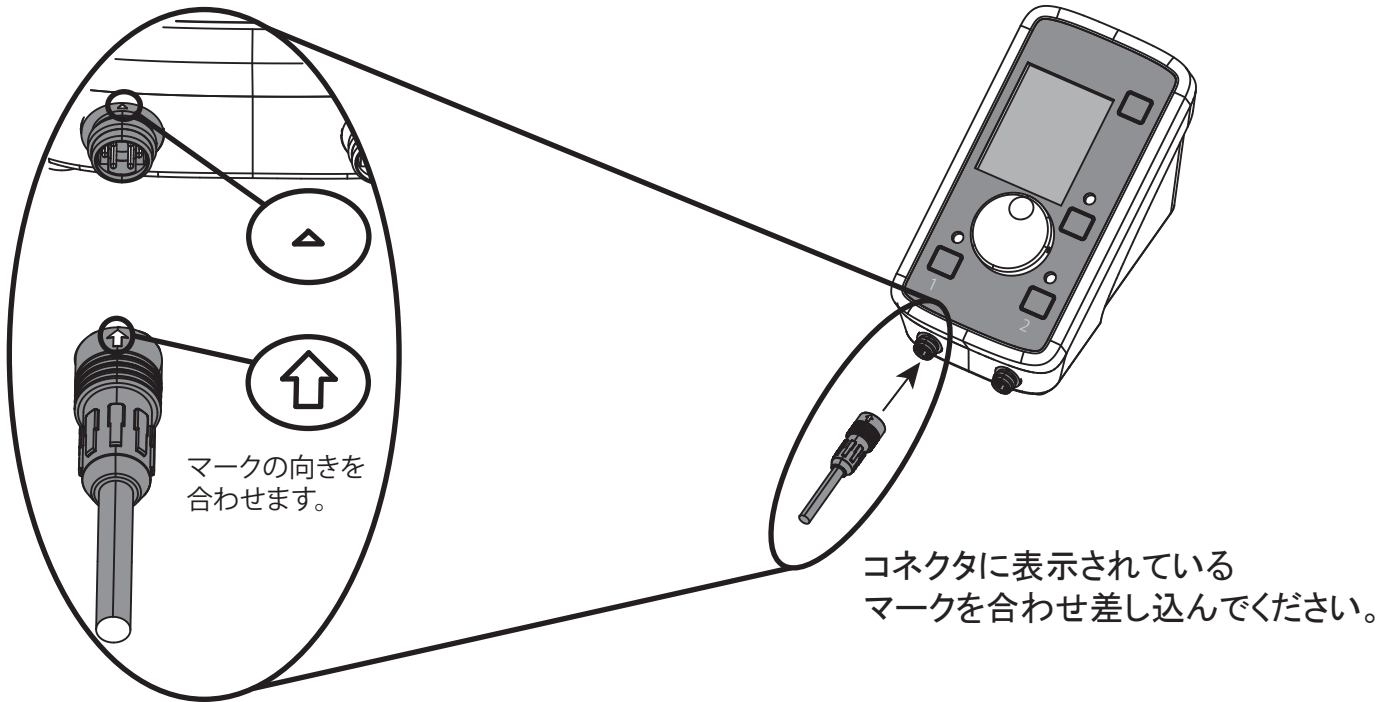
- 3 コンセントにACコードを差し込みます。



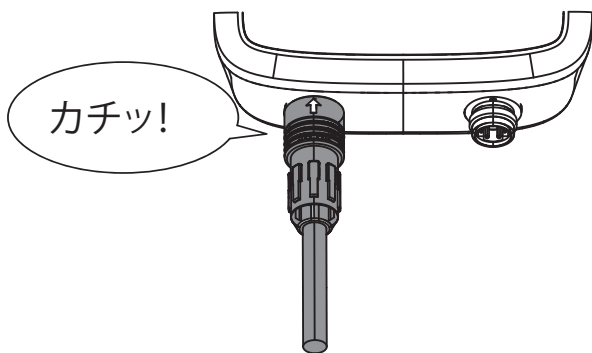
⚠ 機器を接続するコンセントの周りには操作の妨げになるものを置かないでください。

- 4 電極コード接続口(CH1)に電極コードを接続します。
コネクタに表示されている矢印の向きを合わせ差し込んでください。

※ 電極を1本でご使用される場合は、電極コードは必ずCH1の接続口に接続してください。
CH2は電極1本使用では動作いたしません。



”カチツ”と音がするまで差し込んでください。

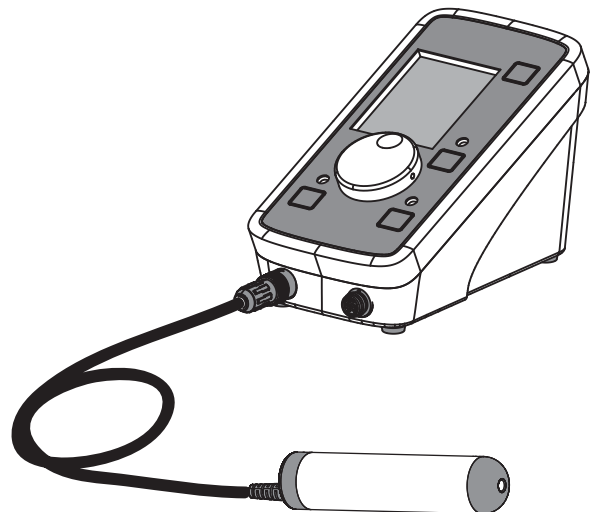


接続完了

⚠ **注意** 電極コードを取り外す際は

電極コードを取り外す際は、ロックがかかっていますので、
必ずコネクタ部矢印が書かれた部分を持ち、
矢印マークと反対方向に引きながら抜いてください。
電極コードをそのまま抜きますとコードが破損する場合があります。

正しい手順で行うと、大きな力を使わずに本体からコードを簡単に取り外すことができます。



使用方法

【禁忌・禁止】

下記の医用電子機器との併用は、誤動作を招く恐れがありますので使用しないでください。

- ・ ペースメーカー、埋込型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内埋込型医用電気機器。
- ・ 心電計などの装着型医用電気機器。

把持電極は手のひら以外では使用しないでください。火傷の恐れがあります。

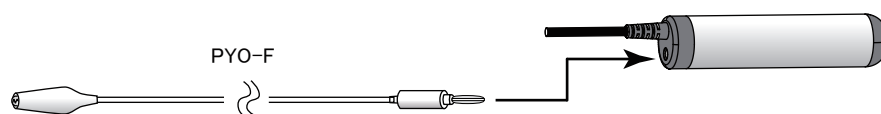
アタッチメントの金属部分を唇、舌等に接触させないでください。火傷の恐れがあります。

また、電極を2つ接続して使用する場合は、1人の患者さんに対し、1つの電極のみを使用してください。複数接続すると、火傷の恐れがあります。

本製品は高酸素濃度雰囲気での使用は意図しておりません。高酸素濃度雰囲気での使用はしないでください。

う蝕予防

- 1 前準備として、PYO-F(イオンレー接続コード)を接続してください。



- 2 適合するイオンレーを選択し、綿に弗化ナトリウム液「ネオ」を浸してください。

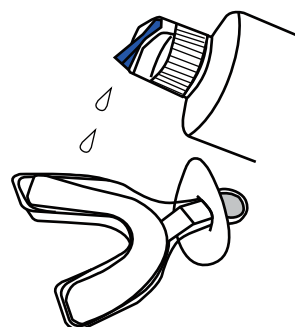
参考 弗化ナトリウム液「ネオ」使用量の目安

SS : 1~1.5cc

S : 1.5~2cc

M : 2~2.5cc

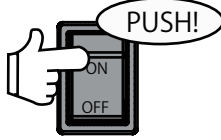
湿潤したトレーを逆さまにし軽く指で押した時、薬液が滴り落ちる場合は多過ぎです。反対に薬液不足ですと、RESET LEDが点滅せず、導入できません。



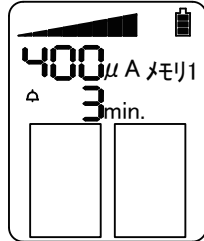
3 前準備が完了したら、電源スイッチをONにしてください。

この時、選択されている動作モードが”メモリ1”であることを確認してください。

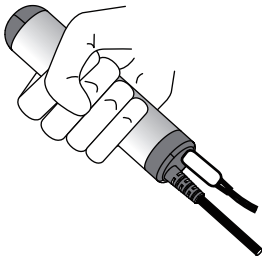
※メモリ1には初期設定で”400 μ A 3min”が設定されております。(弊社、う蝕予防推奨設定です。)



【LCD表示部表示】



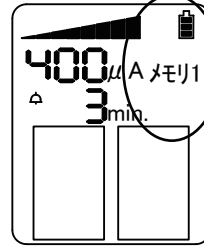
4 電極を患者さんの手でしっかり握らせてください。



選択されている動作モードの確認

LCD表示で選択されている動作モードを確認できます。

選択モード表示



動作モードは

- ・ノーマル
- ・メモリ1
- ・メモリ2
- ・メモリ3

の4種類あり。
”MODEスイッチ”(6ページ参照)
を押すごとに切り替わります。

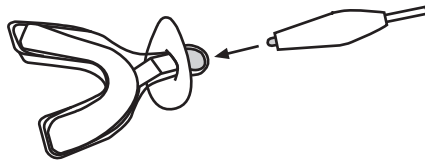
重要

START/STOP LEDが点灯状態では動作モードは
変更できません。
動作モードを変更する場合はSTART/STOPスイッチ
をおしてSTART/STOP LEDを消灯してください。

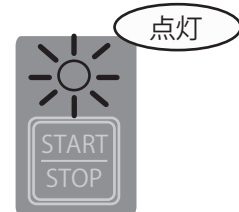
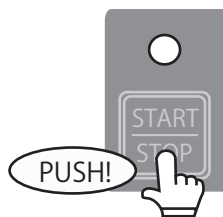
5 イオントレーを上顎歯列に圧接して、軽く噛み合わせます。

※嘔吐反射を防ぐため、上顎歯列から処置を行ってください。

6 PYO-F(イオントレー接続コード)のクリップでイオントレーの端子をはさみ接続します。



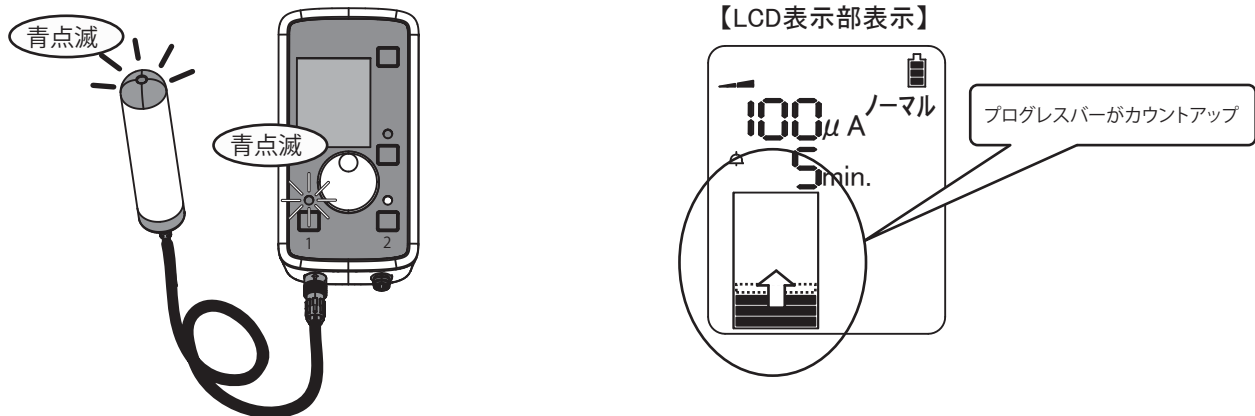
7 START/STOP スイッチをONにしてください。
START/STOP LEDが青色に点灯します。



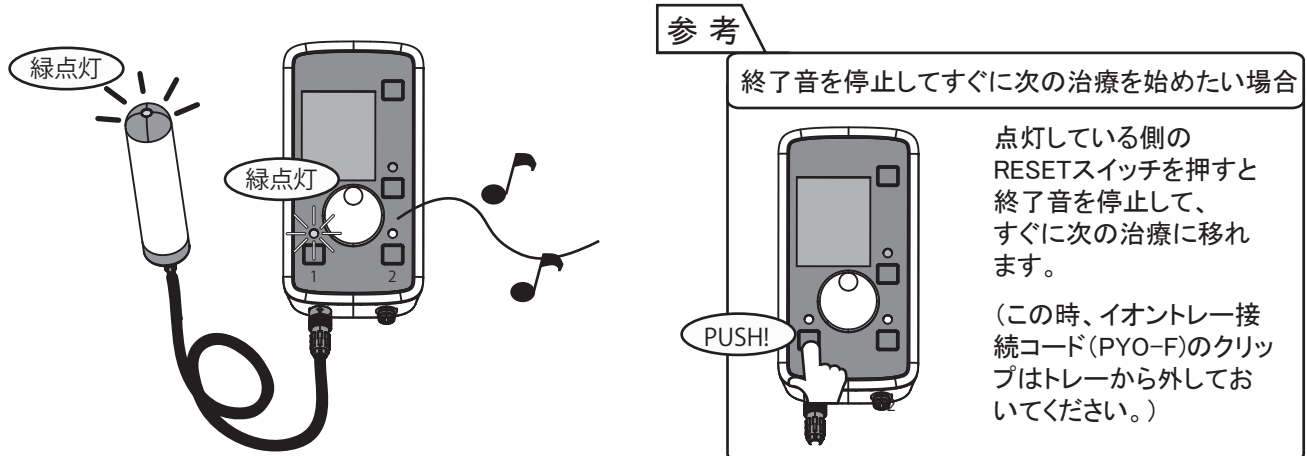
重要

ロータリーエンコーダを回すと
出力電流値の変更ができます。

- 8 イオン導入が始まります。
導入が正常に行われていると、CH1のRESET LEDと電極の内蔵LEDが青色に点滅し、LCD表示部のプログレスバーがカウントアップを始めます。



- 9 設定時間を経過すると出力電流が停止し、終了音とともに、RESET LEDと電極内蔵のLEDが緑色の点灯に変わります。その後トレーからPYO-F(イオントレー接続コード)を外すとプログレスバーがリセットされます。

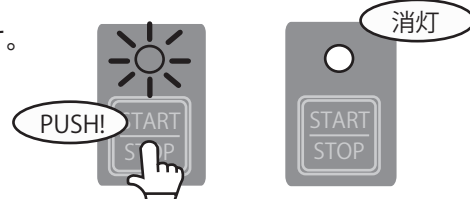


重要 RESET LEDが点滅しない状態の時は下記の理由により通電がストップした状態です。

- ① 電極の握りが緩い
- ② 患者さんの手のひらが乾燥している
- ③ 電極コードや接続コードが外れている
- ④ 電極コードや接続コードが断線している

等が考えられます。詳しくはP28トラブルシューティングをご参照の上、ご確認をお願いいたします。

- 10 口腔内からイオントレーを取り出し、廃棄してください。
- 11 同様に下顎を処置します。 5~6、8~10 ※ 二回目は 手順7 (START/STOPスイッチの操作) を行う必要はありません。連続で施術できます。
- 12 施術が終了したら、START/STOPスイッチをOFFします。



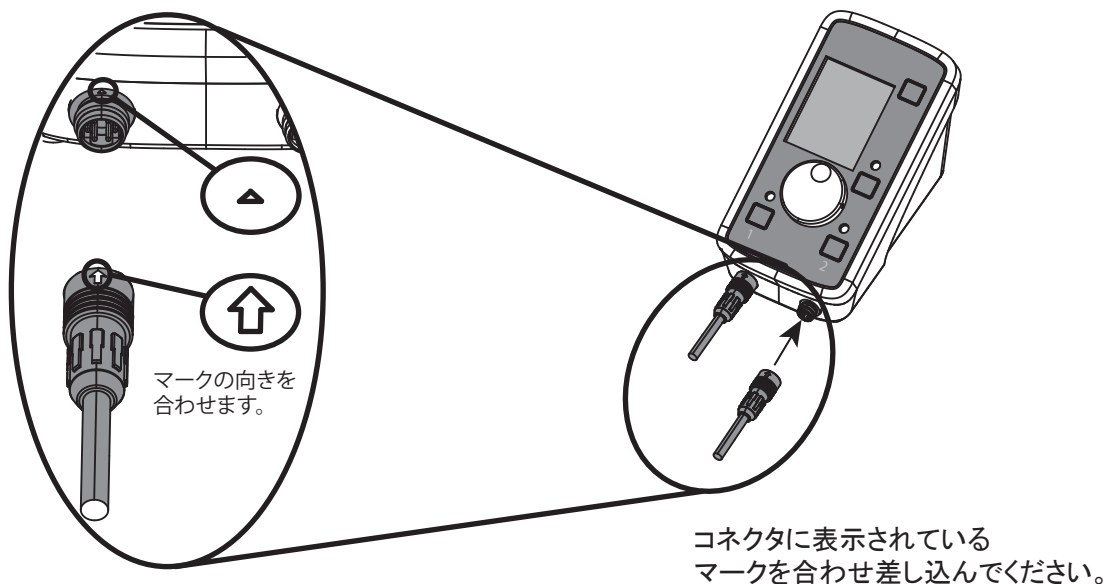
- 13 使用後は電源スイッチをOFFにして、機器及び付属品は次回の使用に差し支えないようにしてください。



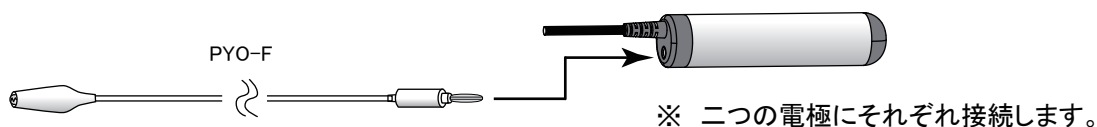
う蝕予防(二人同時使用)

※ 二人同時使用時には電極コード(別売)とPYO-F(イオントレー接続コード)(別売)が付属品の他にもう1セットが必要です。
販売店にてご購入ください。

- 1 9ページの前準備を参考にCH1とCH2の両方に電極コードを接続します。



- 2 CH1とCH2の両電極コードに、PYO-F(イオントレー接続コード)を接続してください。



- 3 適合するイオントレー(2人分)を選択し、綿に弗化ナトリウム液「ネオ」を浸してください。

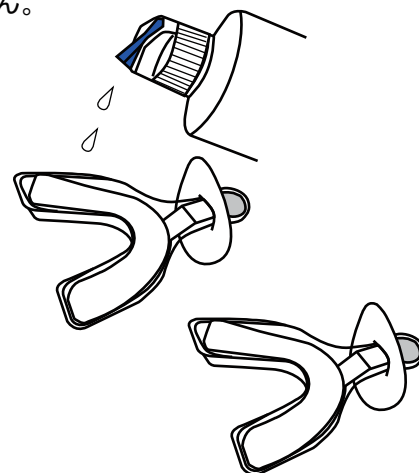
参考 弗化ナトリウム液「ネオ」使用量の目安

SS : 1~1.5cc

S : 1.5~2cc

M : 2~2.5cc

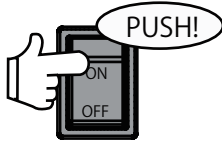
湿润したトレーを逆さまにし軽く指で押した時、薬液が滴り落ちる場合は多過ぎです。
反対に薬液不足ですと、RESET LEDが点滅せず導入できません。



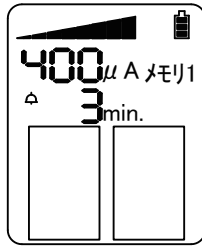
4 前準備が完了したら、電源スイッチをONにしてください。

この時、選択されている動作モードが”メモリ”であることを確認してください。

※メモリ1には初期設定で”400 μ A 3min”が設定されております。(弊社、う蝕予防推奨設定です。)



【LCD表示部表示】



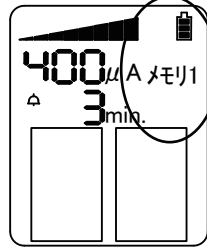
選択されている動作モードの確認

LCD表示で選択されている動作モードを確認できます。

選択モード表示

動作モードは

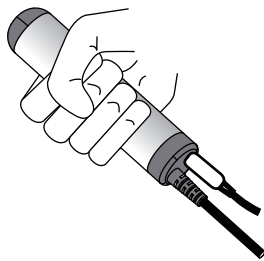
- ・ノーマル
- ・メモリ1
- ・メモリ2
- ・メモリ3



の4種類あり。

”MODEスイッチ”(6ページ参照)を押すごとに切り替わります。

5 電極をそれぞれの患者さんの手でしっかり握らせてください。



重要

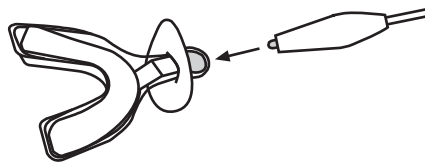
START/STOP LEDが点灯状態では動作モードは変更できません。

動作モードを変更する場合はSTART/STOPスイッチをおしてSTART/STOP LEDを消灯してください。

6 イオントレーを上顎歯列に圧接して、軽く噛み合わせます。

※嘔吐反射を防ぐため、上顎歯列から処置を行ってください。

7 イオントレー接続コード(PYO-F)のクリップでイオントレーの端子をはさみ接続します。



8 START/STOP スイッチをONにしてください。

START/STOP LEDが青色に点灯します。



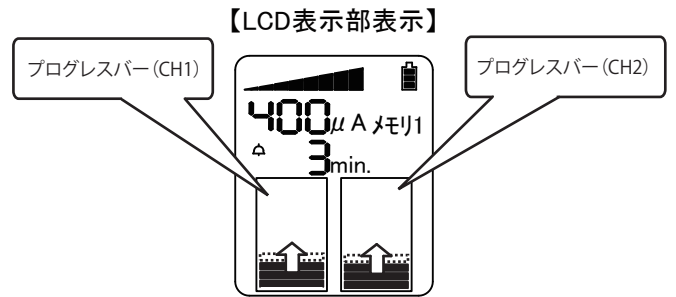
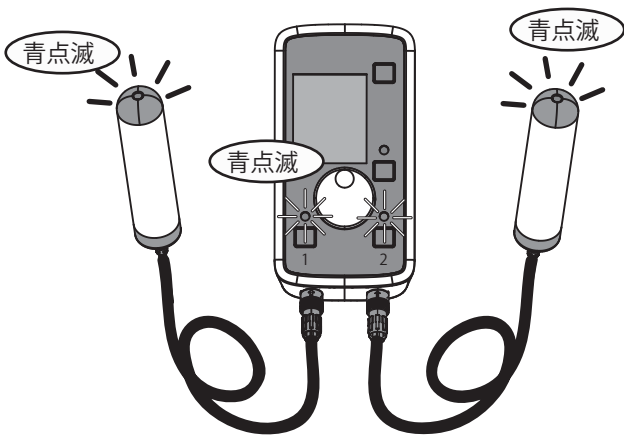
点灯

重要

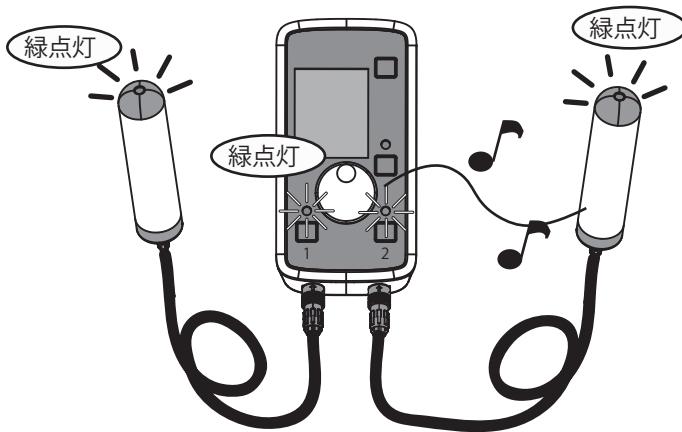
ロータリーエンコーダを回すと出力電流値の変更ができます。

9 イオン導入が始まります。

導入が正常に行われていると、CH1とCH2のRESET LEDと電極の内蔵LEDが青色に点滅し、LCD表示部のプログレスバーがカウントアップを始めます。



10 設定時間を経過すると出力電流が停止し、終了音とともに、RESET LEDと電極内蔵のLEDが緑色の点灯に変わります。その後トレーからPYO-F(イオントレー接続コード)を外すとプログレスバーがリセットされます。



参考

終了音を停止してすぐに次の治療を始めたい場合

点灯している側のRESETスイッチを押すと終了音を停止して、すぐに次の治療に移れます。
(この時、イオントレー接続コード(PYO-F)のクリップはトレーから外しておいてください。)

重要 RESET LEDが点滅しない状態の時は下記の理由により通電がストップした状態です。

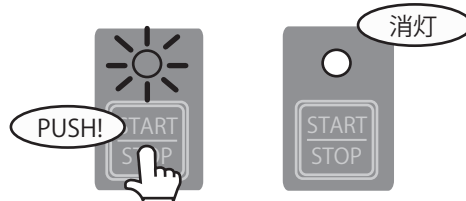
- ① 電極の握りが緩い
- ② 患者さんの手のひらが乾燥している
- ③ 電極コードや接続コードが外れている
- ④ 電極コードや接続コードが断線している

等が考えられます。詳しくはP28トラブルシューティングをご参照の上、ご確認をお願いいたします。

11 口腔内からイオントレーを取り出し、廃棄してください。

12 同様に下顎を処置します。 5～7、9～10 ※ 二回目は 手順8(START/STOPスイッチの操作)を行う必要はありません。連続で施術できます。

13 施術が終了したら、START/STOPスイッチをOFFします。

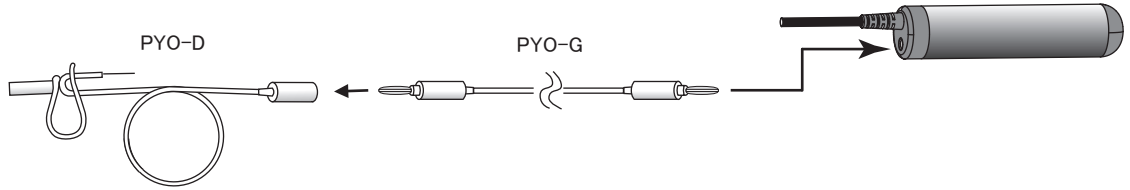


14 使用後は電源スイッチをOFFにして、機器及び付属品は次回の使用に差し支えないようにしてください。

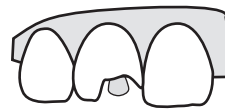


根管治療

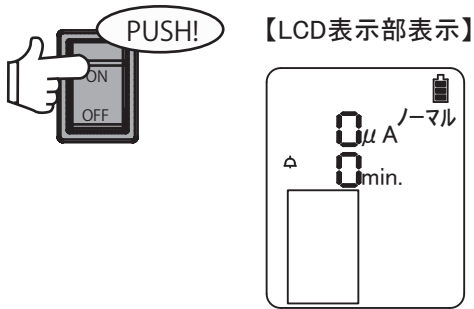
- 1 前準備として、PYO-D(根管治療用アタッチメント)を接続してください。



- 2 根管に弗化ナトリウム液「ネオ」を浸した綿栓を挿入してください。



- 3 前準備が完了したら、電源スイッチをONにしてください。
LCD表示部に表示が現れます。
この時、選択されている動作モードが”ノーマル”であることを確認してください。



選択されている動作モードの確認

LCD表示で選択されている動作モードを確認できます。

選択モード表示

動作モードは

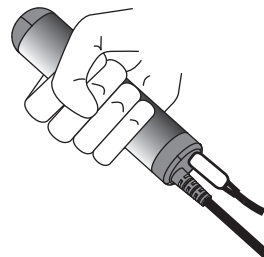
- ・ノーマル
- ・メモリ1
- ・メモリ2
- ・メモリ3

の4種類あり。
”MODEスイッチ”(6ページ参照)
を押すごとに切り替わります。

重要

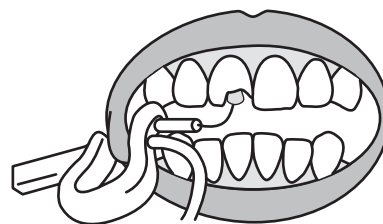
START/STOP LEDが点灯状態では動作モードは
変更できません。
動作モードを変更する場合はSTART/STOPスイッチ
をおしてSTART/STOP LEDを消灯してください。

- 4 電極を患者さんの手でしっかり握らせてください。

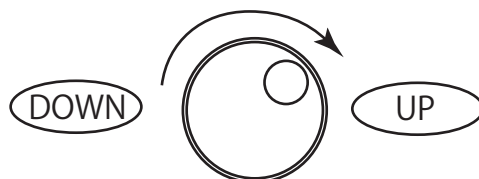


- 5 根管治療用アタッチメント(PYO-D)の針を綿栓に挿入します。
クランプを唇にはさみ固定します。

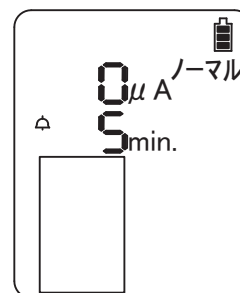
参考 先端の針は部位に応じ曲げてください。



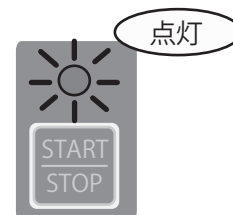
- 6 ロータリーエンコーダを回し、タイマー時間を設定してください。
通常5分程度です。



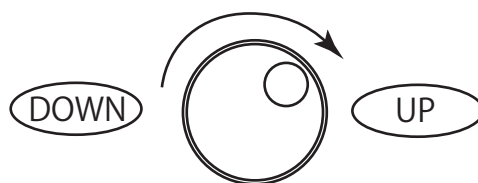
【LCD表示部表示】



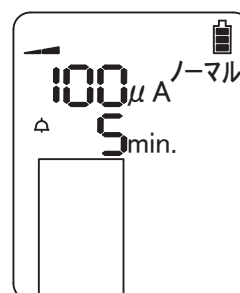
- 7 START/STOP スイッチをONにしてください。
START/STOP LEDが青色に点灯します。



- 8 ロータリーエンコーダを回し、出力電流値を設定してください。



【LCD表示部表示】



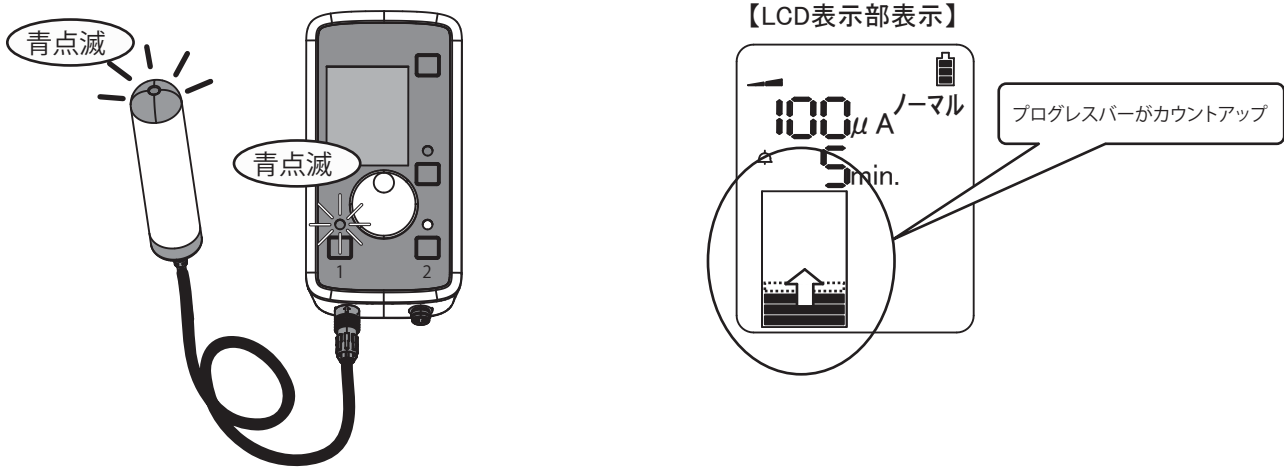
根管治療の電流値及び時間について

導入時間は通常5分程度です。診療に合わせて適宜設定してください。

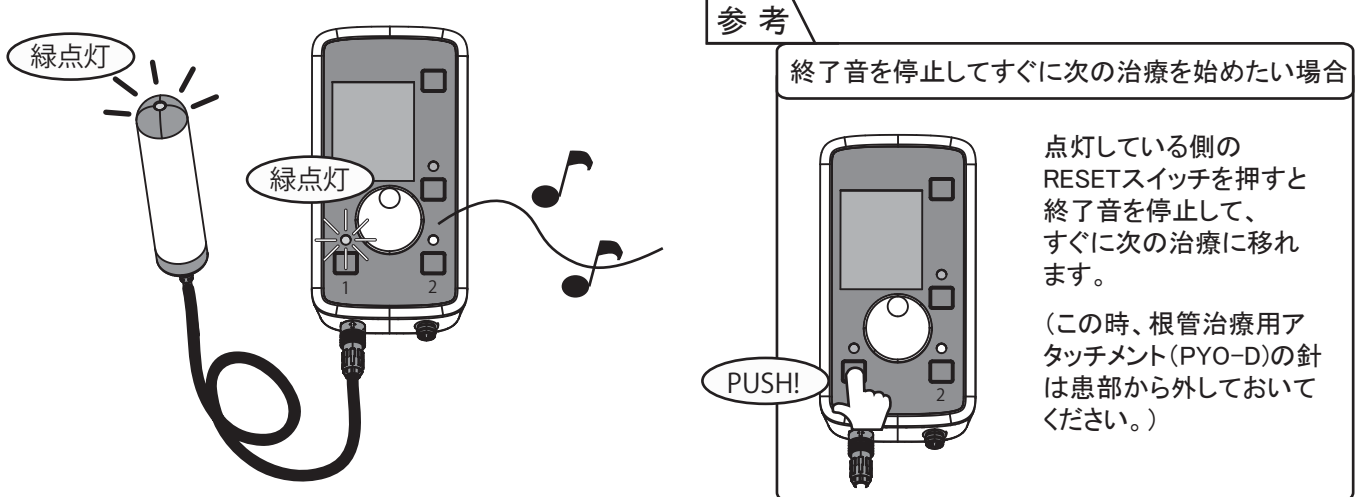
出力電流値は0から徐々に上げ、患者が電気による疼痛を感じたら少し下げて、疼痛を感じない電流値で導入してください。 ※なるべく多くの電流を流したほうが治療効果は得られます。

電流値が低い場合は時間を増やして導入してください。

- 9 イオン導入が始まります。
導入が正常に行われていると、CH1のRESET LEDと電極の内蔵LEDが青色に点滅し、LCD表示部のプログレスバーがカウントアップを始めます。



- 10 設定時間を経過すると出力電流が停止し、終了音とともに、RESET LEDと電極内蔵のLEDが緑色の点灯に変わります。その後、START/STOP スイッチが消灯します。



重要 RESET LEDが点滅しない状態の時は下記の理由により通電がストップした状態です。

- ① 電極の握りが緩い
- ② 患者さんの手のひらが乾燥している
- ③ 電極コードや接続コードが外れている
- ④ 電極コードや接続コードが断線している

等が考えられます。詳しくはP28トラブルシューティングをご参照の上、ご確認をお願いいたします。

- 11 使用後は電源スイッチをOFFにして、機器及び付属品は次回の使用に差し支えないようにしてください。

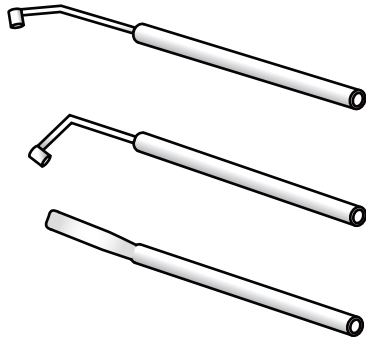


参考 操作方法の詳細は16ページ【基本的操作】をお読みください。

一般的用法

【付属品の接続】

1 治療の部位・症状により治療用アタッチメントを選択してください。

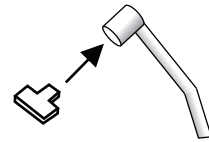


PYO-A:唇面用アタッチメント

PYO-B:舌面用アタッチメント

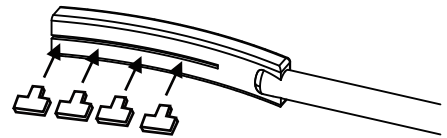
PYO-C:多歯用アタッチメント

2 選択したアタッチメントの先端に触子(PYO-E)を挿入します。

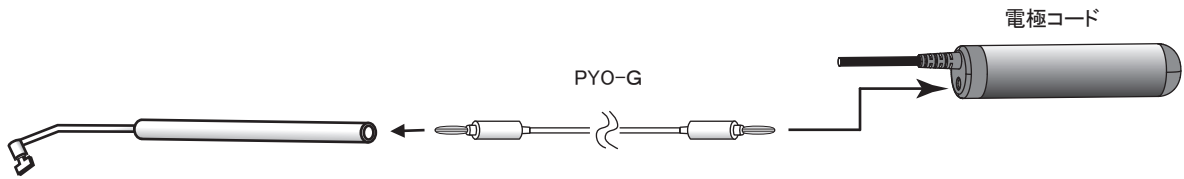


・PYO-Cの場合

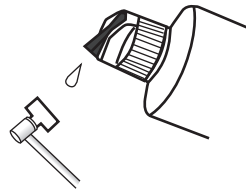
アタッチメント(PYO-C)のスリットに触子(PYO-E)を挿入してください。



- 3 触子(PYO-E)をセットしたアタッチメントに、PYO-G(治療用アタッチメント接続コード)を差し込み、もう一方を電極コードに差し込みます。



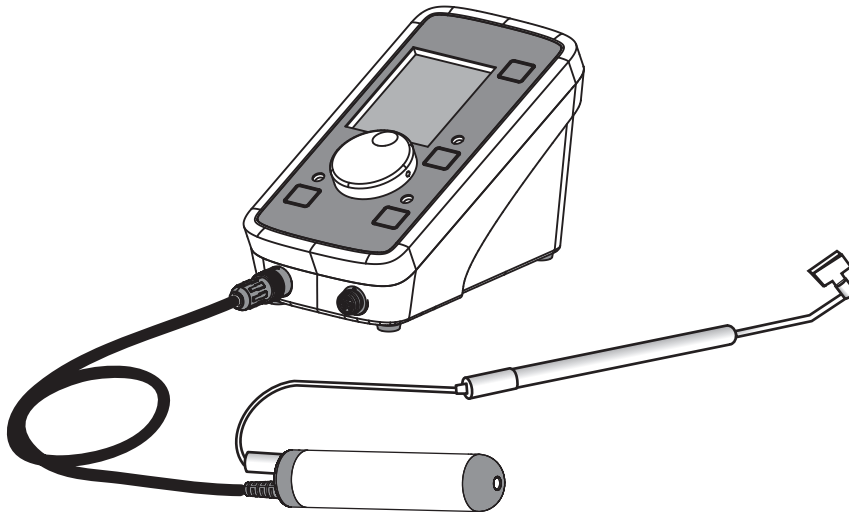
- 4 触子(PYO-E)に弗化ナトリウム液「ネオ」を浸します。




参考

触子(PYO-E)は弗化ナトリウム液「ネオ」で浸されると膨らみ歯面に当てやすいスポンジ状になります。

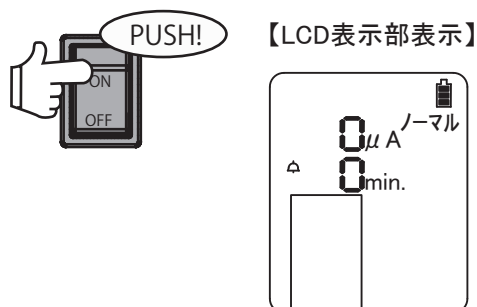
- 5 準備完了



 触子(PYO-E)は Disposable です。使用後は廃棄してください。

【基本的操作】

- 1 前準備が完了したら、電源スイッチをONにしてください。
LCD表示部に表示が現れます。
この時、選択されている動作モードが”ノーマル”であることを確認してください。



選択されている動作モードの確認

LCD表示で選択されている動作モードを確認できます。

選択モード表示

動作モードは

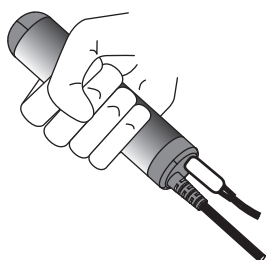
- ・ノーマル
- ・メモリ1
- ・メモリ2
- ・メモリ3

の4種類あり。
”MODEスイッチ”(6ページ参照)
を押すごとに切り替わります。

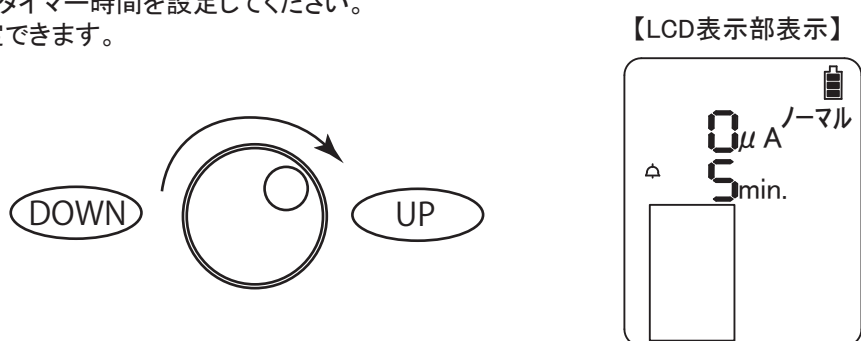
重要

START/STOP LEDが点灯状態では動作モードは変更できません。
動作モードを変更する場合はSTART/STOPスイッチをおしてSTART/STOP LEDを消灯してください。

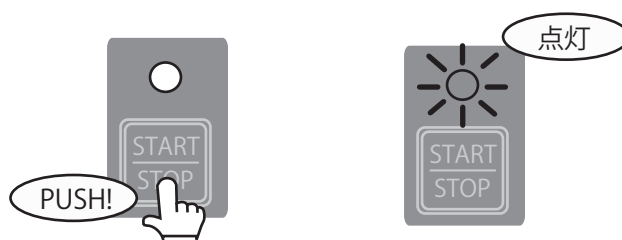
- 2 電極を患者さんの手でしっかり握らせてください。



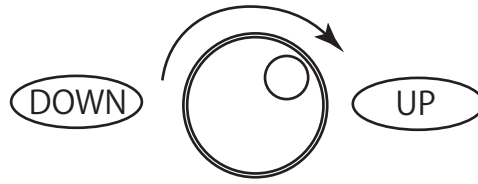
- 3 ロータリーエンコーダを回し、タイマー時間を設定してください。
タイマーは1～16分まで設定できます。



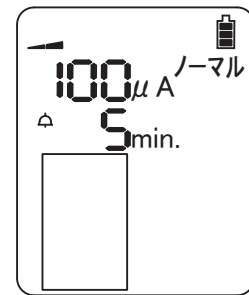
- 4 START/STOP スイッチをONにしてください。
START/STOP LEDが点灯します。



- 5 ロータリーエンコーダを回し、出力電流値を設定してください。
出力電流値は0~500 μ Aまで設定できます。



【LCD表示部表示】

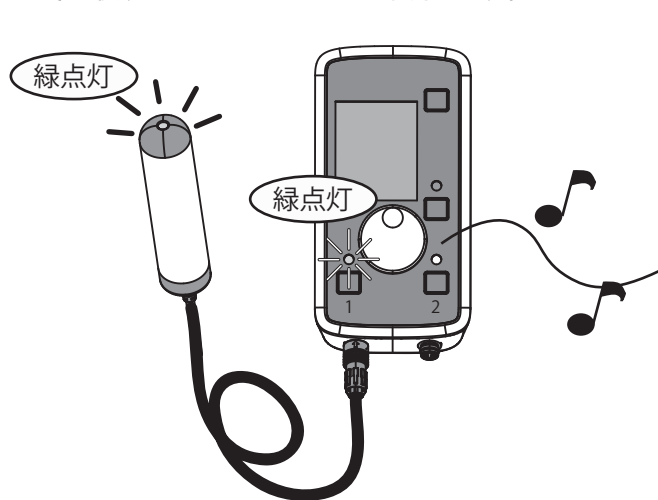


- 6 イオン導入が始まります。

治療の電流値及び時間について

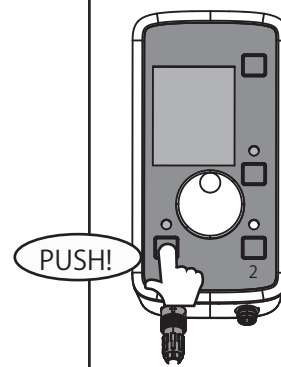
導入時間は通常5~10分です。診療に合わせて適宜設定してください。
出力電流値は0から徐々に上げ、患者が電気による疼痛を感じたら少し下げて、疼痛を感じない電流値で導入してください。※なるべく多くの電流を流したほうが治療効果は得られます。
電流値が低い場合は時間を増やして導入してください。

- 7 設定時間を経過すると出力電流が停止し、終了音とともに、RESET LEDと電極内蔵のLEDが緑色の点灯に変わります。その後、START/STOP LEDが消灯します。



参考

終了音を停止してすぐに次の治療を始めたい場合



点灯している側のRESETスイッチを押すと終了音を停止して、すぐに次の治療に移れます。

(この時、アタッチメントは患者さんから外しておいてください。)

重要 RESET LEDが点滅しない状態の時は下記の理由により通電がストップした状態です。

- ① 電極の握りが緩い
- ② 患者さんの手のひらが乾燥している
- ③ 電極コードや接続コードが外れている
- ④ 電極コードや接続コードが断線している

等が考えられます。詳しくはP28トラブルシューティングをご参照の上、ご確認をお願いいたします。

- 8 使用後は電源スイッチをOFFにして、機器及び付属品は次回の使用に差し支えないようにしてください。



便利な機能

メモリ機能

パイオキュアー(P-11)はメモリ機能をもっています。
本機能を使用することで、最大3つの設定値(電流値、施術時間)を記憶させることができます。

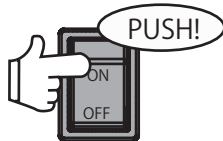
メモリは出荷時に以下の状態に設定されています。

メモリ番号	電流値	設定時間	用法
メモリ1	400 μ A	3分	う蝕予防(推奨値)
メモリ2	0 μ A	0分	なし
メモリ3	0 μ A	0分	なし

● メモリ設定値変更

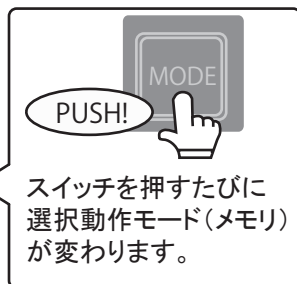
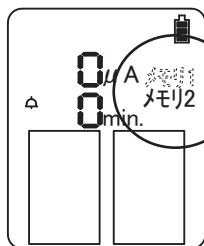
メモリ設定値は以下のように変更します。

- 1 電源スイッチをONにしてください。



- 2 設定値を変更したいメモリモードを選択します。
MODEスイッチ(6ページ参照)を押して変更したいメモリを選択します。
※”ノーマル”モード選択時には設定値は記憶できません。

【LCD表示部表示】



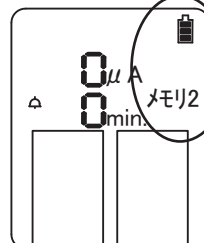
選択されている動作モード(メモリ)の確認

LCD表示で選択されている動作モードを確認できます。

選択モード表示

動作モードは

- ・ノーマル
- ・メモリ1
- ・メモリ2
- ・メモリ3



の4種類あり。
”MODEスイッチ”(6ページ参照)を押すごとに切り替わります。

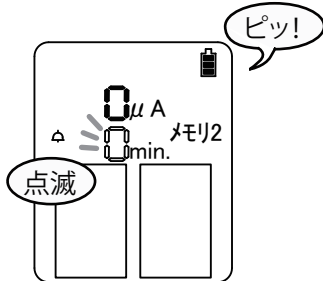
重要

START/STOP LEDが点灯状態では動作モードは変更できません。
動作モードを変更する場合はSTART/STOPスイッチをおしてSTART/STOP LEDを消灯してください。

3 MODEスイッチを長押し(2秒以上)します。

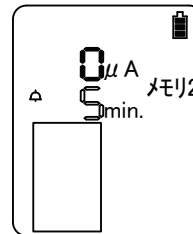
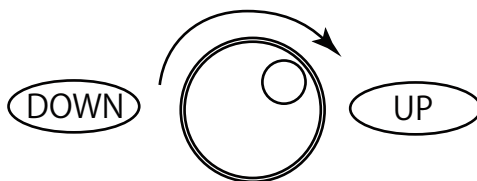


4 "ピッ"と音がして"min"の数字が点滅に変わります。



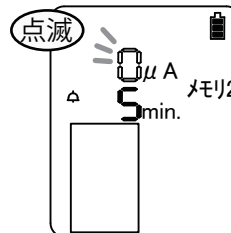
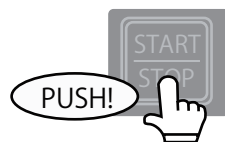
5 ロータリーエンコーダを回し、記憶したいタイマー時間を設定します。

【LCD表示部表示】



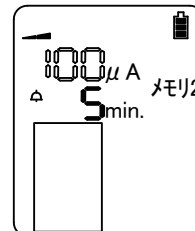
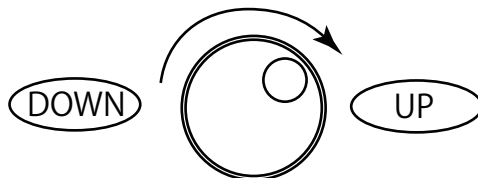
6 START/STOPスイッチを押してください。タイマー時間が決定され、電流値の設定に移ります。

【LCD表示部表示】



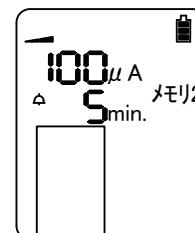
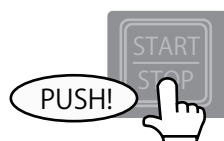
7 ロータリーエンコーダを回し、記憶したい電流値を設定します。

【LCD表示部表示】



8 START/STOPスイッチを押してください。電流値が決定され設定が完了します。

【LCD表示部表示】



設定完了!

※設定完了をせず、設定中に20秒何もしないと自動的に設定はキャンセルされます。

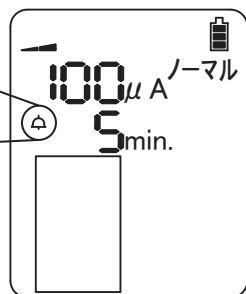
終了音/動作音設定

● 音声出力設定（ミュート機能）

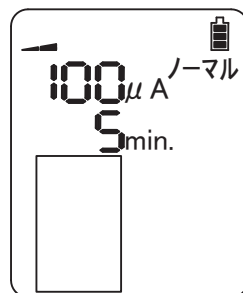
動作音と終了音の設定にかかわらず。音声をミュート(消音)できます。
音声出力設定はLCDのベルマークで表示されています。

【LCD表示部表示】

ベルマーク

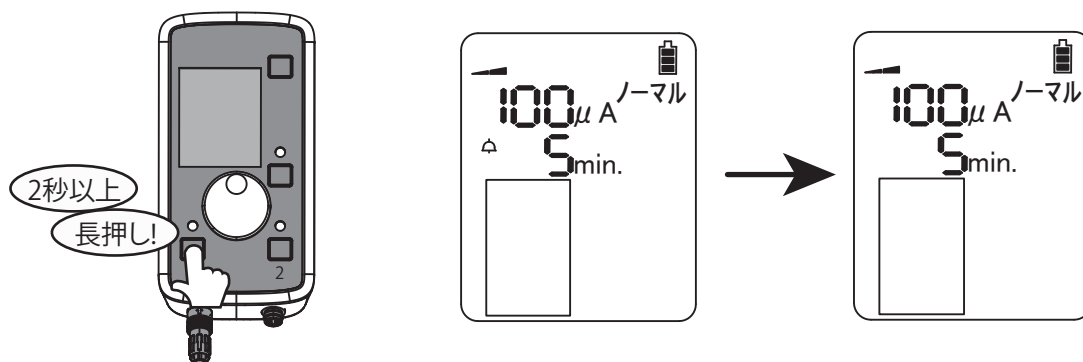


音声出力設定時ベルマークあり



音声ミュート(消音)設定時ベルマークなし

- 1 CH1のリセットスイッチを2秒以上長押しします。
LCD上のベルマークが消えミュート(消音)されます。



※再度音声出力設定(ベルマークあり)にしたい場合は”1”の操作をもう一度行ってください。
ベルマークが表示され音声が出力されます。

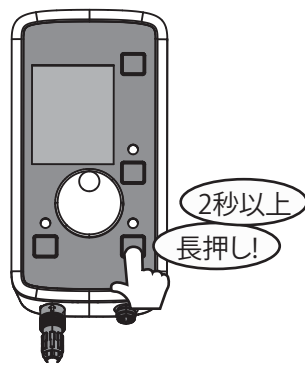
● 音声選択設定

パイオキュアー(P-11)は音声出力時(ベルマークあり)の動作音と施術終了時の終了音を設定することができます。

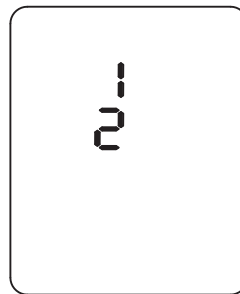
各音の種類に対して以下の設定を選択できます。

音の種類	選択可能な設定		
動作音	オフ	オン	
終了音	オフ	アラーム音	イツツ・ア・スモールワールド

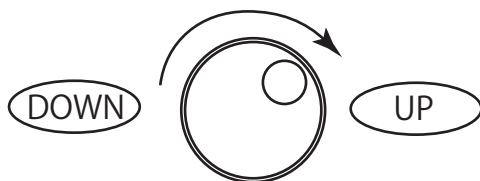
- 1 CH2のリセットスイッチを2秒以上長押しします。
LCD表示が変わります。



【LCD表示部表示】

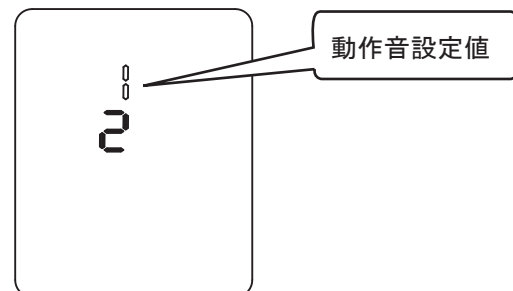


- 2 まず動作音(スイッチを押したときの”ピッ”という音の有無)を設定します。
ロータリーエンコーダを回し値を選択します。
設定値と動作内容は下の表のとおりです。



設定値	設定
0	動作音なし
1	動作音あり

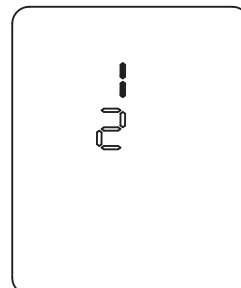
【LCD表示部表示】



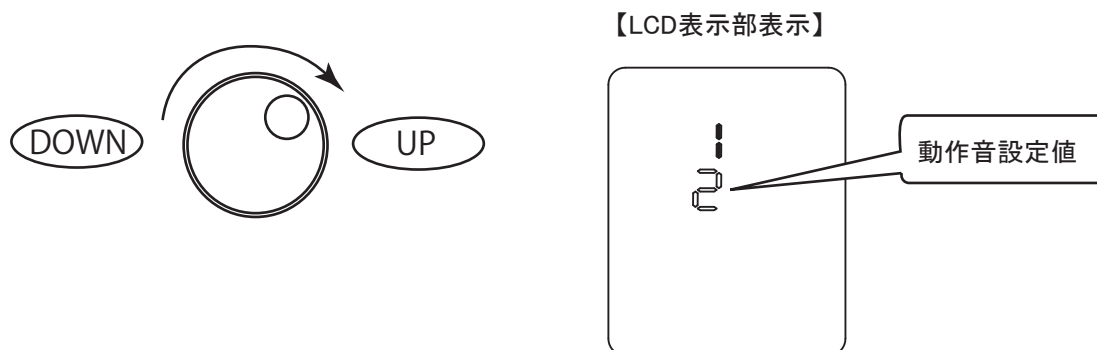
- 3 START/STOPスイッチを押して決定します。
LCD表示は終了音の選択に移ります。



【LCD表示部表示】

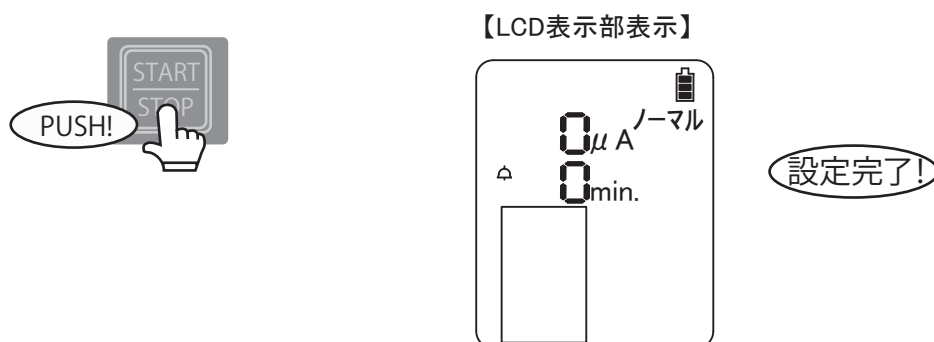


- 4 終了音(タイマカウント終了時の音)をロータリーエンコーダを回して選択してください。
設定値と動作内容は下の表のとおりです。



設定値	設定
0	終了音なし
1	終了音あり(アラーム音)
2	終了音あり(イツアスモールワールド)

- 5 設定値を選択したらSTART/STOPスイッチを押して決定します。
設定が完了しLCD表示が戻ります。
設定完了です。



※設定完了をせず、設定中に20秒何もしないと自動的に設定はキャンセルされます。

困った時は

トラブルシューティング

機器が思うように動作しない時は、次の項目をチェックしてください。

症 状	チェック項目	対策
電源スイッチをONにしてもLCDが表示されない。もしくは表示された後、すぐに消えてしまう。	電池BOX内の充電電池の充電は十分にされていますか？	充電器の取扱説明書に従い、充電電池を充電し、再度お試しください。
アタッチメントを患者さんに接続し、START/STOPスイッチを押したのに、通電せずRESET LEDが点滅しない。 (カウントアップが開始されない。)	① 患者さんは電極をしっかりと握っていますか？	患者さんにしっかりと電極を握らせてください。また、患者さんの手が乾燥していて通電しない場合があります。患者さんの手を少し湿らせてから再度お試しください。
	② 患者さんに触子(PYO-E)がしっかりと触れていますか？	触子(PYO-E)をしっかりと患者さんの歯面または歯肉に触れさせてください。
	③ 薬液を規定量含浸させていますか？	薬液が少ないと通電しない場合があります。規定量薬液を含浸させてください。
	④ 電極コードや接続コードが外れていませんか？	各使用方法欄を参考に正しくコードを接続してください。
	⑤ 電極コードが断線していませんか？	保守点検欄を参考に断線チェックを行ってください。
使用していないとき電極コードのLEDが点灯、点滅する。	—	強い電磁波または電源からの強いノイズが原因と思われます。本体及び電極コードを他の機器から離してお試しください。専用ACアダプタでご使用の場合は、専用ACアダプタを外して、充電電池にて再度お試しください。
使用中、電極コードのLEDの点滅が不定期になる。		
液晶パネルが黒くなってしまった。	—	強い静電気が原因です。継続してご使用いただいても問題ありません。時間経過とともに元の状態に戻ります。

エラーコードについて

エラーコードが表示された場合は以下の処理を行ってください。

エラーコード	処理
E10	本体内部メモリエラーです。販売店にご連絡ください。
E11	出力回路異常です。直ちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。
E12	電池の電圧が低下しています。 電池BOX内の充電電池の充電は十分にされていますか？ 充電器の取扱説明書に従い、充電電池を充電し、再度お試しください。

充電電池について

充電電池および、充電器付属の取扱説明書をよくお読みになり、正しい使用方法でお使いください。保守点検についても、充電器、充電器付属の取扱説明書に従ってください。

本体・付属品の点検方法

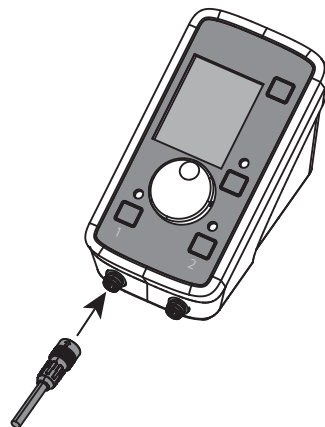
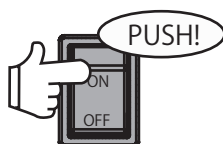
参考

付属品の断線をチェックする簡易方法です。付属品を交換しても解決しない場合はお買い上げの販売店または弊社営業部にご相談ください。

● 動作チェック

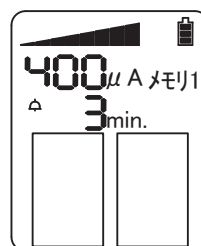
1 電極コードをCH1にセットしてください。

2 電源スイッチをONにしてください。



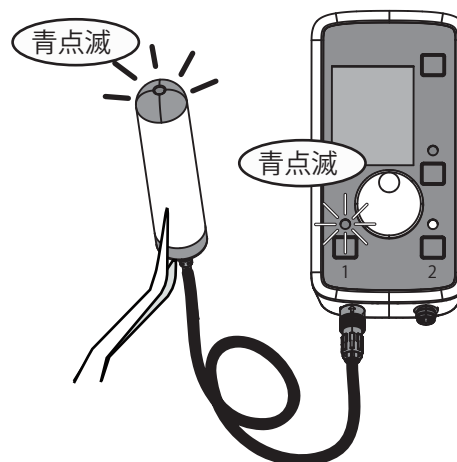
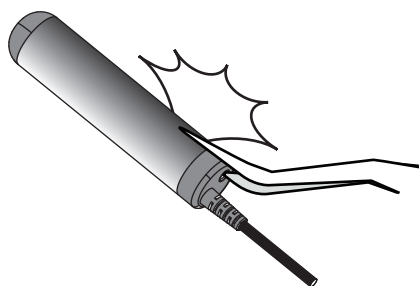
3 動作モードを”メモリ1”にセットします。

【LCD表示部表示】



4 START/STOP スイッチをONにしてください。
START/STOP LEDが点灯します。

5 電極コードの金属部分と電極下面の金属ジャック部分をお手持ちのピンセット(金属製)で接触させます。
接触した状態で本体のRESET LEDと電極のLEDが青点滅していることを確認します。

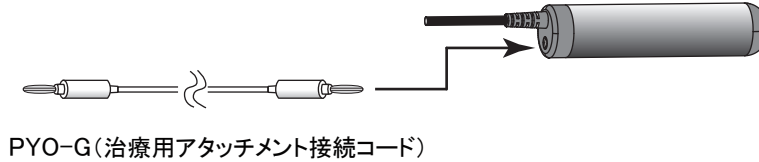


LEDが青点滅しない場合 → P33 断線チェックに進んでください。

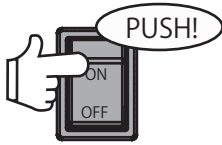
LEDが青点滅している場合 → P30 アタッチメントのチェックに進んでください。

根管治療

- 1 根管治療のチェックを行う場合、PYO-G(治療用アタッチメント接続コード)をご用意いただき、電極コードに接続します。

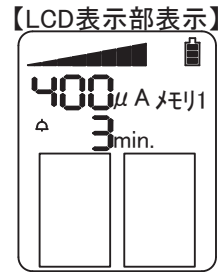


- 2 電源スイッチをONにしてください。

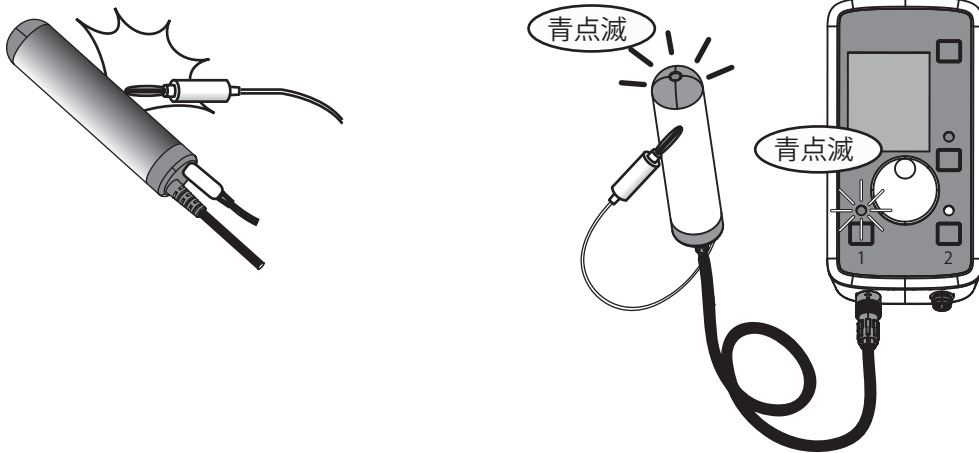


- 3 動作モードを”メモリ”にセットします。

- 4 START/STOP スイッチをONにしてください。
START/STOP LEDが点灯します。



- 5 電極コードの金属部分とPYO-G(治療用アタッチメント接続コード)端子部分を接触させます。
接触した状態で本体のRESET LEDと電極のLEDが青点滅していることを確認します。

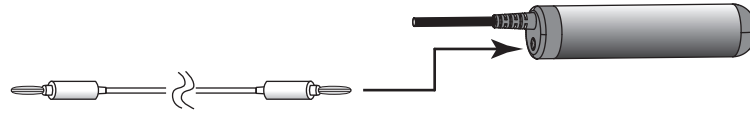


LEDが青点滅しない場合 → PYO-G(治療用アタッチメント接続コード)の断線の可能性があります。PYO-Gを交換してください。

LEDが青点滅している場合 → PYO-D(根管治療用アタッチメント)の断線の可能性があります。PYO-Dを交換してください。

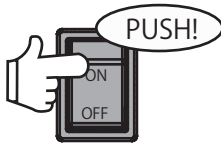
一般的用法

- 1 一般的用法のチェックを行う場合、PYO-G(治療用アタッチメント接続コード)をご用意いただき、電極コードに接続します。



PYO-G(治療用アタッチメント接続コード)

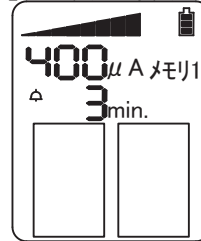
- 2 電源スイッチをONにしてください。



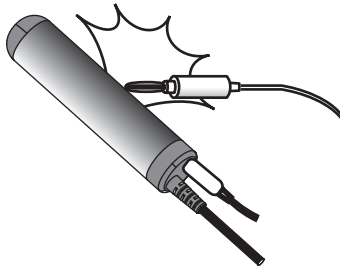
- 3 動作モードを”メモリ1”にセットします。

- 4 START/STOP スイッチをONにしてください。
START/STOP LEDが点灯します。

【LCD表示部表示】



- 5 電極コードの金属部分とPYO-G(治療用アタッチメント接続コード)端子部分を接触させます。
接触した状態で本体のRESET LEDと電極のLEDが青点滅していることを確認します。



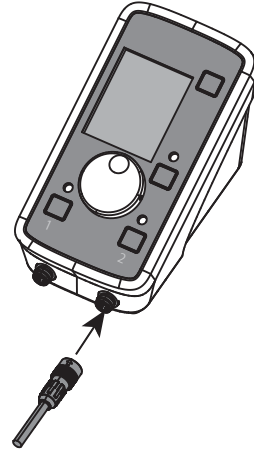
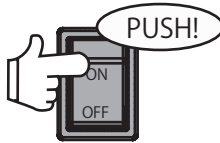
- LEDが青点滅しない場合 → PYO-G(治療用アタッチメント接続コード)の断線の可能性があります。PYO-Gを交換してください。
- LEDが青点滅している場合 → PYO-A～Cの破損の可能性があります。
ご使用されているPYO-A～Cのどのアタッチメントで不具合が
起こっていますか？
不具合の起こっているアタッチメントの接触不良の可能性が
あります。アタッチメントを交換してください。

P29の動作チェックにより、LEDが青点滅していなかった場合、本ページの断線チェックを行ってください。

● 断線チェック

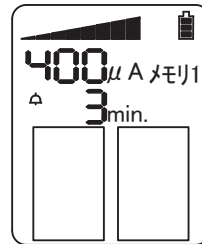
- 1 電極コードをCH2にセットしてください。

- 2 電源スイッチをONにしてください。



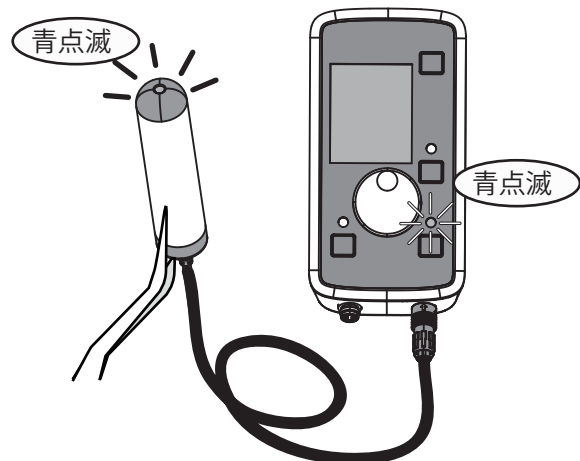
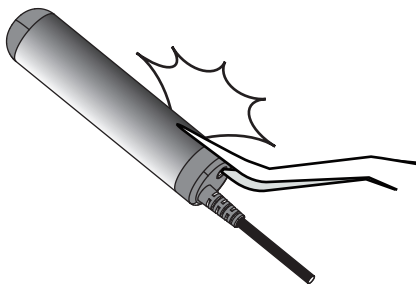
- 3 動作モードを”メモリ”にセットします。

【LCD表示部表示】



- 4 START/STOP スイッチをONにしてください。
START/STOP LEDが点灯します。

- 5 電極コードの金属部分と電極下面の金属ジャック部分をお手持ちのピンセット(金属製)で接触させます。
接触した状態で本体のRESET LEDと電極のLEDが青点滅していることを確認します。



次ページのチェック表より故障部分を確認します。

断線チェック時の症状により故障箇所を判定します。
 (前提としてCH1で動作不良が起こっている場合の判定内容です。)

症状	可能性のある故障箇所
本体RESET LEDが点滅していて、電極のLEDが点滅していない場合	電極が断線している可能性があります。電極を交換してください。
本体RESET LED点滅していて、電極のLEDも点滅している場合	本体故障(CH1)の可能性があります、販売店にご連絡ください。
本体RESET LEDも電極のLEDも点滅していない場合	本体故障の可能性があります、販売店にご連絡ください。

清掃・消毒・滅菌

	清掃	消毒	滅菌
	中性洗剤水拭き	アルコール清拭	高圧蒸気滅菌
本 体	○	○	×
PYO-A~C	○	○	○
PYO-D, F, G	○	○	×

保証とアフターサービス

保証について

製品ご購入時に添付しています「ユーザー登録票」が届き次第、弊社にてユーザー登録を行います。万が一故障が発生した場合、このユーザー登録をもって保証対象期間の確認をします。ユーザー登録がされていない場合は保証の対象となりませんので、必ずユーザー登録を行ってください。
また、保証内容については下記の保証規定に基づいて対応いたします。

〈保証規定〉

- 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には販売店または弊社までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理致します。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。
なお、出張修理をご希望される場合は、別途出張料金を申し受けます。
 - 保証期間はご購入日から**1年間**とします。
 - 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - ご購入後に「ユーザー登録票」によるユーザー登録がされておらず、ご購入の履歴及びご購入日の特定ができない場合。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動時の落下等、お取り扱いが不適当なために生じた故障及び損傷。
 - 説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取り扱いによって発生した故障及び損傷。
 - 改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障及び損傷。
 - 消耗品の交換。
 - 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、または間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
 - 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- * 本保証は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
* 保証期間経過後の修理につきましては、ご購入いただいた販売店、または弊社にお問い合わせください。

アフターサービス

ご使用中異常が生じたときは、まずこの説明書をもう一度読んでお調べください。正常に戻らないときは、お買い上げの販売店または株式会社ナルコム営業部にご連絡ください。

補修用性能部品の
最低保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を、製造打切後最低7年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
部品仕入れの関係で担保できなくなる可能性があります。

ご不明な点や修理
に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社営業部にお問い合わせください。

修理を依頼される
ときは

本体が正常に動作しないとき、及び異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または弊社営業部にご連絡ください。
なお、本器の故障もしくは不具合により、発生した付随的な損害の責についてはご容赦ください。

保証期間中

修理に際しましては、上記〈保証規定〉に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

弊社に修理をお申し付けいただくときは

下記事項をご記入の上、付属品も一緒にお送りください。

- | | | |
|--------------|------|-------|
| ・お買い上げ日 | お客様の | ・ご住所 |
| ・販売店名 | | ・お名前 |
| ・故障の状況（具体的に） | | ・電話番号 |

技術資料

本製品は、医療電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格、JIS T 0601-1-2:2018 に適合している装置です。

EMC に関わる技術的な説明を以下に記載します。

- 警告** ・本製品は電磁両立性（EMC）に関して、特別な注意が必要であり、EMC 技術資料に記載された EMC 情報に基づいて使用しなければなりません。
- ・携帯形および移動形の無線周波（RF）通信機器により本製品は影響を受けることがあるので、30cm 以上離して使用することが望ましい。
 - ・付属品 / 別売品は、弊社の指定品を使用すること。指定品以外を使用すると電磁放射波（エミッション）が増加したり、電磁環境耐性（イミュニティ）が低下したりすることがあります。
 - ・本製品は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないでください。

表 1. ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁エミッション

ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁エミッション		
本製品は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。本製品の顧客または使用者は、下記の環境で使用されること		
エミッション試験	適合性	電磁環境・ガイダンス
RFエミッション CISPR 11	グループ 1	本製品は、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用している。したがって、その RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RFエミッション CISPR 11	クラス B	
高調波エミッション IEC 61000-3-2	非適用	
電圧変動 / フリッカエミッション	非適用	本製品は、家庭用施設および家庭目的に使用される建物に電力を供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された施設を含むすべての施設での使用に適する。
備考 患者結合部: 電極ケーブルの金属部、患者結合ケーブル: 電極ケーブル		

表 2. ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁イミュニティ

ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁イミュニティ			
本製品は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。本製品の顧客または使用者は、下記の環境で使用されること			
イミュニティ試験	JIS T 0601 試験レベル	適合レベル	電磁環境・ガイダンス
静電気放電 (ESD) JIS C 61000-4-2	±8kV 接触 ±2kV, ±4kV, ±8kV, ±15kV 気中	±8kV 接触 ±2kV, ±4kV, ±8kV, ±15kV 気中	床は木材、コンクリートまたはセラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は最低 30% であることが望ましい。
電氣的ファストランジェント / バースト JIS C 61000-4-4	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。
サージ JIS C 61000-4-5	±1kV ラインーライン間 ±2kV ラインー接地間	±1kV ラインーライン間 ±2kV ラインー接地間	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。
電源入力ラインでの電圧ディップ、短時間停電および電圧変動 JIS C 61000-4-11	0% UT (0.5 サイクル) 0% UT (1 サイクル) 70% UT (25/30 サイクル) 0% UT (250/300 サイクル)	0% UT (0.5 サイクル) 0% UT (1 サイクル) 70% UT (25/30 サイクル) 0% UT (250/300 サイクル)	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。本製品の使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合には、本製品を電池から電力供給することを推奨する。
電源周波数 (50/60Hz) 磁界	30A/m	30A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性をもつことが望ましい。
備考 UT は検査レベルを加える前の交流電源電圧			

表 3. ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁免疫


ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁免疫			
本製品は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。本製品の顧客または使用者は、下記の環境で使用されるこ			
免疫試験	JIS T 0601試験レベル	適合レベル	電磁環境・ガイダンス
伝導 RF JIS C 61000-4-6	3Vrms (150kHz～80MHz) 6Vrms (150kHz～80MHz間の ISM帯域)	3Vrms 6Vrms	携帯形および移動形 RF通信機器は、ケーブルを含む本製品のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。 推奨分離距離 d=1.2√P 3Vrms d=2√P 6Vrms
放射 RF JIS C 61000-4-3		3V/m	d=1.2√P 80MHz～800MHz d=2.3√P 800MHz～2.7GHz ここで Pは、送信機製造業者によるワット(W) で表わした送信機の最大定格出力電力であり、d はメートル(m) で表わした推奨分離距離である。電磁界の現地調査 a)によって決定する固定 RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲 b)における適合性レベルよりも低いことが望ましい。次の記号を表示している機器の近傍で  は干渉が生じることがある。
備考1 80MHz および 800MHz においては、高い周波数範囲を適用する。			
備考2 これらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。			
a) 例えば無線（携帯 / コードレス）電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送および TV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に理論的に予測をすることはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。本機が使用される場所の正確な電界強度が、適用される RF 適合性レベルを超える場合、正常動作をするかを検証するために監視することが望ましい。異常動作を確認した場合、追加の手段、例えば、本製品の向きまたは場所を変えることが必要となることがある。			
b) 周波数範囲 150kHz ～ 80MHz を通して、電界強度は 3V/m 未満であることが望ましい。			


表 4. 携帯形および移動形 RF通信機器と本製品との推奨分離距離

携帯形および移動形 RF通信機器と本製品との間の推奨分離距離				
本製品は、放射 RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。本製品の顧客または使用者は、通信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形および移動形 RF通信機器(送信機) と本製品との間の最小距離を、下記				
送信機の最大定格出力電力 (W)	送信機の周波数による分離距離 (m)			
	150kHz～80MHz 3Vrms d=1.2√P	150kHz～80MHz 6Vrms d=2√P	80MHz～800MHz d=1.2√P	800MHz～2.7GHz d=2.3√P
0.01	0.12	0.2	0.12	0.23
0.1	0.38	0.63	0.38	0.73
1	12	2	1.2	2.3
10	3.8	6.3	3.8	7.3
100	12	20	12	23
上記以外の最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル(m) で表した推奨分離距離 dは、送信機の周波数に対応す				
備考1 80MHz および 800MHz においては、高い周波数範囲を適用する。				
備考2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。				




表 5. ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁免疫

ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁免疫							
本製品は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。本製品の顧客または使用者は、下記の環境で使用されるこ							
無線通信機からの近傍電磁界 JIS C 61000-4-3	試験周波数 (MHz)	周波数帯域 ^{a)} (MHz)	サービス ^{a)}	変調 ^{b)}	最大電力 (W)	距離 (m)	試験レベル (V/m)
	385	380~ 390	TETRA 400	パルス変調 ^{b)} 18Hz	1.8	0.3	27
	450	430~ 470	GMRS 460 FRS 460	FM ^{c)} ±5kHz偏差 1kHz正弦波	2	0.3	28
	710, 745, 780	704~ 787	LTE Band 13, 17	パルス変調 ^{b)} 217Hz	0.2	0.3	9
	810, 870, 930	800~ 960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE Band 5	パルス変調 ^{b)} 18Hz	2	0.3	28
	1720, 1845, 1970	1700~ 1990	GSM 1800 CDMA1900 GSM1900 DECT LTE Band 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 ^{b)} 217Hz	2	0.3	28
	2450	2400~ 2570	Bluetooth WLAN 802.11b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 ^{b)} 217Hz	2	0.3	28
	5240, 5500, 5785	5100~ 5800	WLAN802.11a/n	パルス変調 ^{b)} 217Hz	0.2	0.3	9
	備考 イミュニティ試験レベルを達成するために必要な場合には、送信アンテナと本製品との間の距離を1mまで近づけてもよい。1mの試験距離はJIS C 61000-4-3で許容されている。 a) サービスによってはアップリンク周波数だけが含まれる。 b) 搬送波は、50% デューティサイクル矩形波信号を用いて変調しなければならない。 c) FM 変調の代わりとして、18Hzでの50%パルス変調を用いてもよい。これは実際の変調を表す						

仕様

販売名	バイオキュアー P-11	
類別	機械器具 (12) 理学診療用器具	
一般的名称	JMDN 70703000 歯科用イオン導入装置	
機器の分類	クラスII 管理医療機器 特定保守管理医療機器	
認証番号	224ADBZX00189000	
型式	P-11	
電源	DC 5 V	
	AC 100 V ± 10% 50 / 60 Hz ± 2% (専用ACアダプタ使用)	
最大定格	2VA	
寸法	W 80 × D 142 × H 91 mm	
質量	0.5kg (電池含む)	
機器の分類	電撃に対する保護の形式 クラスII 機器	
	電撃に対する保護の程度 B形機器 	
出力電流	DC 0 ~ 500 μA (10 μA ステップ) 精度 ± 5	
タイマー時間	0 ~ 16 分 (1分 ステップ) 精度 ± 1	
付属品	電極コード	1
	PYO-A(唇面用アタッチメント)	1
	PYO-B(舌面用アタッチメント)	1
	PYO-C(多歯用アタッチメント)	1
	PYO-D(根管治療用アタッチメント)	1
	PYO-E(触子)	30
	PYO-F(イオントレー接続コード)	1
	PYO-G(治療用アタッチメント接続コード)	1
	充電池(単三 × 4本)	1
	電池用充電器	1
動作環境	温度5°C~40°C, 湿度20~80%(結露なきこと), 気圧80kPa以上	
保管方法	<ul style="list-style-type: none"> ・水のかからないところ ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響が生ずることがない場所に保管すること 	
有効期間・使用の期限	製造出荷後、正規の保守点検を行った場合に限り、10年間とする。(自己認証による) 廃棄は所在地、行政の指示に従って処分すること。	

製品に表示されているシンボルの意味

	クラスII 機器
	B形装着部
	取扱説明書に従うこと

【主要文献】

- 川島 康 : 「弗素イオン導入法の臨床」 歯界展望 第36巻 第5号 1970年
 小林 博 : 「弗素イオン導入法が珪瑯質の耐酸性(抗齲蝕性)増強に及ぼす効果についての実験的臨床的研究」 歯科学報 第72巻 第12号 1972年
 宮吉 誠 : 「フッ素イオン導入法による象牙質微細構造の変化に関する実験的研究」 歯科学報 第87巻 第4号 1987年
 Philip L.Schlegel, Ellery C.Stowell, Clinton C.Emmerso :
 「弗化物を局所に使用した場合における電位差の影響」 南カリフォルニア州歯科医師会会報 Vol.30, No.9 1962
 荷宮 文夫 : 「フッ素イオン導入法による永久歯う蝕予防の臨床実験的研究」 九州歯科学会雑誌別冊 Vol.27, No.2 1973 p156-162
 川島 康 : 「実験的感染根管治療における弗素イオン導入法の効果に関する病理組織的研究」
 相 有三郎 : 「窩洞形成後の弗素イオン導入法が歯髄にあたる効果に関する実験病理学的研究」 歯科学報 Vol.68, No.12 1968
 長谷 徹 : 「象牙質知覚過敏症へのフッ素イオン導入法の基礎的研究」 日本歯科保存学雑誌 Vol.28, No.2 1985 p527-547
 尾辻 淳 : 「エナメル質におけるフッ素保持に関する研究-とくに、フッ化ナトリウム溶液の通電下での作用について-」 歯科医学別刷 Vol.53 No.1 1990
 田中 敏子 : 「歯科用イオン導入装置・バイオキュアーによる牛歯エナメル質へのフッ素イオン導入効果に関する研究」

製品およびサイバーセキュリティに関するお問い合わせ、ご質問は営業部までご連絡ください。

製造販売元：**株式会社ナルコーム**

〒384-2107 長野県佐久市蓬田1251番地239
TEL 0267-51-5155(代) FAX 0267-58-0557

営業部：〒271-0091 千葉県松戸市本町11-5 明治安田生命松戸ビル5F
TEL 047-364-7656(代) FAX 047-364-7657

URL <http://www.narcohm.co.jp> Mail : info@narcohm.co.jp